



## 新学期スタート時期の“病欠”は心配事がたくさん・・・ クラスに馴染めない危険性を小学校教職員の約7割が指摘！

86.5%の先生が、家庭での手洗い・うがいの指導を希望

<http://www.musejapan.jp/>

レキットベンキーザー・ジャパン株式会社(本社:東京都港区芝浦/代表取締役:ステファン・ガー)が展開する薬用せっけんの「ミューズ」は、今年3月に、22歳～50代の小学校の教職員207人を対象に、新学期の児童に関する心配事についての意識調査を実施いたしました。

新学期が始まる4月には、小学生も進学やクラス替えがあり、友だちとの関係や勉強内容など全てが新しく変わります。新しい友達とうまくやっていけるのか、勉強についていけるのか、児童本人や親御さん方が期待と不安を感じるのももちろんですが、それは新しいクラスを受け持つ先生も同じこと。今回の調査では、小学校の先生たちが感じている新学期ならではの心配や懸念事項が明らかになりました。

### ■約7割の先生が、新学期の病欠によりクラスに馴染めなくなることを懸念！

問題なくスタートを切りたいと願う新学期ですが、春先は温度の寒暖の差も激しく、体調を整えるのは大人でも難しい時期です。そんな新学期に、児童・生徒が病欠や感染症で欠席することは、先生達にはどのような心配事となるのかを調査したところ、**69.6%の教職員がクラスに馴染めなくなるリスクを挙げました。**特に、小学校1年生を受け持つ先生は80.9%と割合が高く、入学時の病欠に対する懸念が伺えました。

<Q:児童が新学期に休むことで、心配に思うことは？>



### ■病欠予防に、97%の先生が手洗いやうがいの指導を実施

病欠の原因となる風邪や感染症を予防するために、学校や先生自身で取り組んでいることを伺ったところ、「**手洗いやうがいの指導**」が**97.1%**と最も高く、次いで「**こまめに換気を行うこと**」が**68.1%**、「**咳エチケットの指導**」が**63.3%**と続きました。どれも当たり前の対策として知られていることではありますが、正しい手洗いやうがいの励行など、教育現場でも風邪や感染症対策が必要だと考えられていることが分かります。

<Q:風邪や感染症を予防するために、学校や先生自身で取り組んでいることは？>



### ■子どもを病気から守るには家庭の協力も必須

また、風邪や感染症を予防するために、家庭で行ってほしいことを伺ったところ、「**規則正しい生活リズムの徹底**(87.9%)」と、「**手洗いやうがいの指導**(86.5%)」の2つが非常に高い要望となって表れました。教育現場と家庭が一丸となって、子どもの元気で楽しい学びを創っていききたいとする先生たちの声が寄せられる結果となりました。

<Q:風邪や感染症を予防するために、自宅親御さまに配慮してほしいことは？>



## <小学校教職員に対する「新学期の児童に関する心配事調査」調査概要>

- 調査対象 : 小学校の教職員
- 回収サンプル数 : 207サンプル
- 調査地域 : 全国
- 調査方法 : インターネット調査(ネット調査会社の登録モニター活用)
- 調査期間 : 2013年3月18日(月)～22日(金)
- 調査実施 : レキットベンキーザー・ジャパン株式会社

### 汚れを徹底除去！石けんを使って正しい手洗い

風邪などへの感染を防ぐための対策として**手洗い**は非常に重要です。

下の実験は、手に専用のローションを塗り、手洗い前後に紫外線ランプを当てて、洗い残しを可視化したものです。洗い残し部分が発光しています。

(2009年12月レキットベンキーザー・ジャパン調べ「汚れ落とし効果検証試験」)



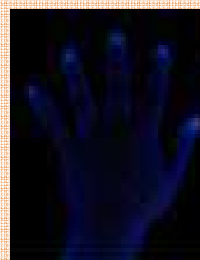
<手洗い前>

手全体に汚れに見立てた  
ローションが塗られています。



<水のみで手洗した場合>

全体的にローションが残っており、  
特に爪周りと親指・手の甲に  
洗い残しが見られます。



<石けんを使って  
正しく手洗した場合>

ほとんど洗い残しが見られません。

## ■ミュージズ(レキットベンキーザー・ジャパン)の取り組み

### <正しい手洗いの啓発プログラムを実施>

ミュージズ(レキットベンキーザー・ジャパン)では、  
風邪やウイルス感染の予防のために、子ども向けの  
手洗いプログラムを開発し、学習施設などで実施しております。  
2012年10月27日(土)には、東北大学医学部と仙台市科学館主催で  
行われた「感染予防キッズセミナー」にも参加協力をを行い、  
正しい手洗い方法を指導いたしました。



### <グローバル・ハイジーン・カウンシルの活動を支援>

グローバル・ハイジーン・カウンシルは、2006年に、世界の衛生意識の向上や感染症拡散を防ぐことを  
目的として、微生物学、ウイルス学、感染症、免疫学、公衆衛生を含む衛生学また衛生学に関連する  
分野で働く世界的トップリーダーが、集まって設立された専門集団です。

手洗いせっけんミュージズの日本展開をはじめ、衛生管理全般に関わるブランドを世界的に展開する  
レキットベンキーザー社は、世界の人々の家族やご自身の健康に衛生管理の観点で貢献したいと考え、  
グローバル・ハイジーン・カウンシルをサポートしています。

日本においても健康のための衛生管理の啓発活動を積極的に行っております。

グローバル・ハイジーン・カウンシルの ホームページ: <http://www.hygienecouncil.org/>